

なかつがわ



令和5年 中津川市議会 9月定例会

市の花 サラサドウダン



4年ぶりに
議場を使って開催！
**生徒会
サミット**



目次

議案	②
予算決算委員会報告	④
令和4年度決算認定	⑥
常任委員会報告	⑩
特別委員会報告	⑪
一般質問	⑫
編集後記他	⑯

トピックス

- 令和4年度の決算を認定しました(6ページ)
- 令和5年度市民と議会の対話集会を開催します(15ページ)
- 生徒会サミットが開催され、市内の中学生が将来の中津川市のまちづくりに対する思いを発表してくれました。(表紙・裏表紙)

■議題 8 7 号 中津川市土地開発公社の解散について

中津川市土地開発公社の所期の目的を達成したことに伴い、中津川市土地開発公社理事会において解散の同意が得られたことから、議会の議決を求めるものです。

■指定管理者の指定について

	施設名	
指定期間5年 (R6年4月1日～ R11年3月31日)	中津川市清和寮	付知 B&G 海洋センター
	中津川市デイサービスセンターゆうわ苑	中津川市付知グラウンド
	中津川市デイサービスセンターゆうらく苑	裏木曾花街道センター
	中津川市坂下福祉センター	花街道付知楽市楽座
	中津川市坂下デイサービスセンター	中津川市付知峽倉屋温泉施設
	中津川市加子母第二デイサービスセンター	中津川市付知峽倉屋温泉スタンド
指定期間3年 (R6年4月1日～ R9年3月31日)	中津川市落合石畳マレットゴルフ場	福岡ローマン渓谷オートキャンプ場
	中津川市加子母温泉スタンド	中津川市有機センターひるかわ
	桜の湖ふれあい村	中津川市中の島公園ふれあい施設
	桜の湖自然公園	中津川市地域活性化センター

請願 「健康保険証存続を求める意見書の提出に関する請願」 (賛成少数 不採択)

(1) 請願の要旨

現行の健康保険証を継続するよう、国(衆参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣)に意見書を提出願います。

(2) 請願の理由

本年6月に「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」等の一部を改正し、国民の利便性向上等の観点から、来年秋に現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードと健康保険証を一体化することとされたが、現在、マイナンバーカードと健康保険証の情報が入り混じってしまっている事例が確認されている。

現行の健康保険証の廃止後は、マイナンバーカードを持たない被保険者についても保険診療を受けられるよう、本人からの求めに応じて資格確認書を交付することとされているが、本人の意思確認が難しい認知症患者等は申請手続を行えず、保険診療を受けられなくなることが懸念されている。

マイナンバーカードについては、この他公金受け取り口座の誤登録、住民票の写しなどのコンビニ交付サービスで本人の証明書が発行されるなどのトラブルが続出している。

こうした中で健康保険証を廃止すれば、利用者が保険資格を証明出来ずに窓口で10割負担を求められるケースや、別人の医療情報に基づく誤った診断や薬の処方危険性も指摘されている。さらに寝たきりや認知症、一人暮らしの高齢者や心身に障がいを持つ方々は十分に対応が出来ずに必要な医療を受ける権利が損なわれる恐れもあり、国民の生命に関わる深刻な事態にも発展しかねません。誰もが安心して医療が受けられる「国民皆保険」の土台を揺るがす重大な問題となる。

誰もが安心して医療を受けることができる社会保障制度を維持するため、「健康保険証」を継続することを国に求めてください。

文教民生委員会審査内容

来年秋に現行の健康保険証を廃止して、マイナンバーカードと健康保険証を一体化することに対して、健康保険証を継続する意見書を国に提出することを求める請願です。

執行部の所見として、「政府は、マイナンバーによる情報連携の正確性確保に向けた総点検と再発防止を強力に推進しており、また、現行の保険証廃止後も必要な医療が受けられるため、健康保険証を継続することを国に求めることは考えておりません。」との所見でした。

その後、委員全員に意見を聞いた結果、マイナンバーカードと健康保険証の一本化を進めるべきとの意見が多く、賛成少数で不採択となりました。

議会だより ③ なかつがわ

9月定例会

議案の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください



	議案番号	件名	委員会審査		議決結果
			付託委員会	審査結果	
報告	報第7号	専決処分の承認を求めることについて ※令和5年度中津川市一般会計補正予算(第6号)(第7号)2件	—	—	承認(全会一致)
	報第8号	健全化判断比率の報告について	—	—	—
	報第9号	資金不足比率の報告について	—	—	—
条例	議第79号	中津川市税条例の一部改正について	総	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第80号	中津川市幼稚園の設置等に関する条例等の一部改正について	文	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第81号	中津川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び中津川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第82号	中津川市火災予防条例の一部改正について	総	可決(全会一致)	可決(全会一致)
人事	議第83号	中津川市固定資産評価審査委員会の選任につき同意を求めることについて	—	—	同意(全会一致)
	議第84～86号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	—	—	可決(全会一致)
その他	議第87号	中津川市土地開発公社の解散について	産	可決(全会一致)	可決(賛成多数)
	議第88号	工事の委託に関する協定の変更について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第89～96号	指定管理者の指定について※中津川市清和寮 等10施設	文	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第97～104号	指定管理者の指定について※裏木曾花街道センター 等11施設	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第107号	財産の取得について	産	可決(全会一致)	可決(全会一致)
予算	議第74号	令和5年度中津川市一般会計補正予算(第8号)※中津川市土地開発公社解散に関する事業	予	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
	議第75号	令和5年度中津川市一般会計補正予算(第9号)※国・県補助金、緊急対応、翌年度精算地	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第76号	令和5年度中津川市介護保険事業会計補正予算(第1号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第77号	令和5年度中津川市下水道事業会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
	議第78号	令和5年度中津川市病院会計事業会計補正予算(第2号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)
議第106号	令和5年度中津川市一般会計補正予算(第10号)	予	可決(全会一致)	可決(全会一致)	
請願	請願第1号	請願書「健康保険証存続を求める意見書の提出に関する請願」	文	不採択(賛成少数)	不採択(賛成少数)
議会提案	議第105号	中津川市議会会議規則の一部改正について	—	—	可決(全会一致)
決算	認第1号	令和4年度中津川市一般会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
	認第2号	令和4年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
	認第3号	令和4年度中津川市駅前駐車場事業会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
	認第4号	令和4年度中津川市介護保険事業会計決算の認定について	予	認定(全会一致)	認定(全会一致)
	認第5号	令和4年度中津川市後期高齢者医療事業会計決算の認定について	予	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
	認第6号	令和4年度中津川市水道事業会計決算の認定について	予	認定(全会一致)	認定(全会一致)
	認第7号	令和4年度中津川市下水道事業会計決算の認定について	予	認定(全会一致)	認定(全会一致)
	認第8号	令和4年度中津川市病院事業会計決算の認定について	予	認定(全会一致)	認定(全会一致)

総：総務企画委員会 文：文教民生委員会 産：産業建設委員会 予：予算決算委員会

■議第80号 中津川市幼稚園の設置等に関する条例等の一部改正について

中津川幼稚園、南幼稚園及び西幼稚園の統合、並びに地元からの要望を尊重し、予定を前倒して落合保育園及び神坂幼稚園を統合し、幼保連携型認定こども園として設置するために改正するものです。



▲中津川幼稚園



▲南幼稚園



▲西幼稚園



▲落合幼稚園



▲神坂幼稚園

議会だより ② なかつがわ

予算決算委員会報告（補正予算）

②寄附金を財源としての備品購入等 159万円

<主な事業>

- 児童館等の備品を購入・・・・・・・・・・・・・510千円
- 小・中学校の備品を購入(福岡小・福岡中)・・・・・・・・・・・・・1,000千円

③緊急対応が必要な事業 10億2,185万円

<主な事業>

- 被災した市道を改良・・・・・・・・・・・・・85,000千円
- 児童・生徒におけるコロナ禍が及ぼす影響からの回復事業・・・・・・・・・・・・・9,120千円
- 坂下診療所用地の購入・・・・・・・・・・・・・166,675千円
- 紙おむつの持ち帰りを廃止し、保育園・こども園で処分を実施・・・・・・・・・・・・・2,495千円
- 小・中学校の運動用設備を改修(東小・福岡中)・・・・・・・・・・・・・14,872千円
- 中央公民館を改修・・・・・・・・・・・・・500,340千円

建設から43年が経過し、雨漏り等老朽化が激しい中央公民館を改修します。

- ①雨漏り対策 屋上、外壁等の防水
- ②安全対策 外壁の剥離防止、体育室天井及びホール舞台天井改修等
- ③快適な学習環境の整備 空調設備更新、LED化、壁・床張替え等
- ④特徴ある機能の充実 体育室、調理実習室等の再整備
- ⑤行政機能の移転対応 1階図書館跡の改修



▲おむつ保管ボックス（イメージ）



▲破損したバスケットゴール（福岡中）



▲中央公民館 体育室断熱材落下

④過年度精算 6億6,247万円

<主な事業>

- 国・県支出金等過年度償還金(一般会計)・・・・・・・・・・・・・100,189千円
- 国・県支出金等過年度償還金及び基金積立金(介護保険事業会計)・・・・・・・・・・・・・558,592千円
- 国・県支出金等過年度償還金(病院事業会計)・・・・・・・・・・・・・3,692千円

予算決算委員会報告（補正予算）

9月補正予算の概要

議案の詳細につきましては、市ホームページの9月補正【概要】をご覧ください。



<主な事業>

- 7月12日専決
 - 豪雨により被災した施設等の復旧・・・・・・・・・・・・・4億9,957万円

- 8月4日専決
 - 豪雨等により被災した施設等の復旧・・・・・・・・・・・・・1億3,696万円

- 初日(8月29日)議決
 - 中津川市土地開発公社解散に関する事業・・・・・・・・・・・・・5億341万円
 - ・リニア駅周辺整備に係る用地の購入
 - ・清算に要する経費を補助

- 補正を行う会計
 - 一般会計・・・・・・・・・・・・・10億5,699万円
 - 介護保険事業会計・・・・・・・・・・・・・5億5,859万円
 - 下水道事業会計・・・・・・・・・・・・・2,183万円
 - 病院事業会計・・・・・・・・・・・・・1億7,037万円

①国・県補助金等を活用しての事業実施 1億2,187万円

<主な事業>

- 中学校3年生の児童をもつ保護者等に対し3万円/人の支給・・・・・・・・・・・・・21,646千円
中学校3年生の児童の全ての保護者等が対象となりますが、児童手当を受給していない保護者等は申請が必要となります。
- 道の駅花街道付知を改修し、ぎふ木遊館サテライト施設として整備・・・・・・・・・・・・・84,239千円

「ぎふ木遊館」とは、岐阜市にある子育て世代を応援する「ぎふ木育」の推進拠点として森林とのつながりを親子で体験できる施設です。岐阜県で最初に中津川市にサテライト施設が作られます。



▲岐阜市にある「ぎふ木遊館」

- 根の上高原に休憩施設を整備・・・・・・・・・・・・・4,000千円
- 学校部活動の地域移行に向けた実証事業・・・・・・・・・・・・・1,479千円

令和4年度 決算認定における所見

【リニア都市政策部】

・リニア中央新幹線対策事業

少子高齢化及び人口減少の進展がみられる当市の千載一遇のチャンスとなる本事業ですが、現在は関連事業調整管理が着実に進行しています。関連道路整備事業は令和4年度までに36%が完了しています。目標値は56%でしたので遅れは見られるものの、広域交通拠点としての機能を岐阜県駅に持たせるための利便性と地域住民の生活環境の安全・安心を両立するよう最大限の努力を続けていただき、持続的に発展する中津川へ寄与することを期待します。

【環境水道部】

・水道事業

水道事業会計では、経常経費の削減に努めながら、老朽化している施設を計画的に更新しています。しかし、今後の事業運営には、事業収支に見合った適正な水道料金の設定が必要と思われます。原油価格・物価高騰等での市民生活への影響を考慮しながらの検討をお願いします。

・地球温暖化対策推進事業

脱炭素社会を実現するための再生可能エネルギー等導入補助制度を拡充したことなどで市民の関心も高まっています。今後、地域脱炭素ロードマップの策定により事業が一層推進されることを期待します。

【総務部】

・自主防災組織育成事業

防災士育成講座を36名が受講し、地域防災リーダーは令和4年度末で527名となりました。資格の取得だけでなく、定期的な情報展開や研修を行う等、リーダーとしての活動状況の把握ができる様な取り組みの更なる推進を期待します。

・行政改革推進事業

コロナ感染症の影響により非公表となっている、「第2次行政改革推進プラン」の新たな策定と公表を、令和5年度中に完了するようお願いします。

【農林部】

・農地・担い手対策事業

令和4年度までに914haの農地が担い手に集約され、スマート農業技術導入支援や肥料高騰対策の緊急整備などを行なっています。国の交付金制度を活用することで、耕作放棄地面積を令和3年度64haから1ha増に抑えることが出来ています。

農業生産において最も重要なのは販路です。持続可能な価格での販路を確保していくため、地産地消推進事業や農産物ブランド化推進事業などを力強く推し進めていただくことを期待します。

【文化スポーツ部】

・各博物館事業

苗木遠山史料館・中山道歴史資料館・東山魁夷心の旅路館・鉱物博物館・子ども科学館には、それぞれ貴重な資料が展示・保存されています。中には全国的にも有名なものもあり、一度離散すると元に戻せません。館の維持運営は厳しいところですが、様々な財源を模索し、その貴重な資料を、観光客へのアピールはもちろん、もっと市民に知って観てもらおうと、子どもたちにも地元の宝として学んでもらえるよう、事業を進めていただくことを期待します。



▲第9回前田青邨記念大賞の大賞作品

【建設部】

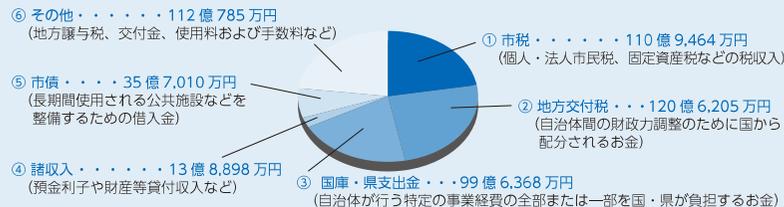
・道路新設改良事業

待望の青木斧戸線が開通し、利便性の向上が図られ歩行者の安全が確保されました。安全安心・住みやすいまちづくりには社会資本の整備が不可欠です。今後も渋滞緩和、災害時の避難路の確保や緊急車両の進入のしやすい幹線及び生活関連道路整備をひとつひとつ確実にお願いします。

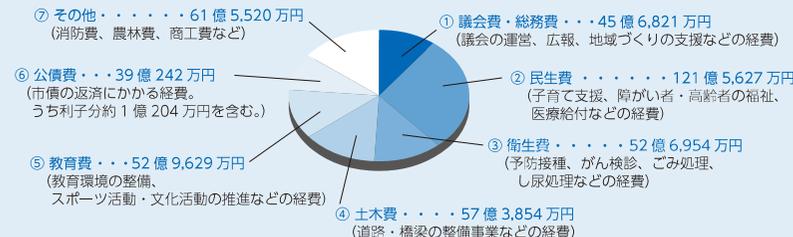
令和4年度決算を認定

一般会計歳入 492億 8,730万円

(単位：万円、千円の位四捨五入)
※一部端数調整あり



一般会計歳出 430億 8,647万円



各会計の決算額

(単位：千円)

会計名	令和4年度決算額	令和3年度決算額	増減額
一般会計	43,086,471	44,153,811	▲1,067,340
国民健康保険事業会計(直診)	260,600	258,742	1,858
国民健康保険事業会計(事業勘定)	6,704,092	6,858,033	▲153,941
駅前駐車場事業会計	17,150	15,130	2,020
介護保険事業会計	8,599,367	8,372,690	226,677
後期高齢者医療事業会計	1,201,739	1,114,323	87,416
水道事業会計	3,522,101	3,069,122	452,979
下水道事業会計	5,321,578	5,422,307	▲100,729
病院事業会計	11,731,149	11,037,154	693,995
計	80,444,247	80,301,312	142,935

健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率・資金不足比率を公表するもので、中津川市の財政は健全かどうかを早期健全化基準と比較して判断します。

■健全化判断比率

(単位：%)

	令和4年度	早期健全化基準	財政再生基準	令和3年度	令和2年度
実質赤字比率	発生していません	12.16	20.00	発生していません	発生していません
連結実質赤字比率	発生していません	17.16	30.00	発生していません	発生していません
実質公債費比率	6.7	25.0	35.0	6.6	7.7
将来負担比率	発生していません	350.0	基準なし	発生していません	発生していません

※各基準を上回ると財政健全化計画を策定し、財政再建に取り組む必要があります。

・令和4年度決算における各比率は、すべて早期健全化基準を下回っており、財政状況は「健全」と言えます。
・実質公債費比率は6.7%で、令和3年度の比率6.6%と比較して0.1ポイント上がりました。
・主な要因は、令和元年度と比較し、元利償還金が2.4億円増額したこと及び元利償還金に対する普通交付税算入額が2.8億円減額したことによるものです。

■資金不足比率

すべての会計において資金不足比率は発生していません。

令和4年度 決算認定における所見

【市民福祉部】

・放課後児童クラブ運営事業

放課後児童クラブ利用者増加を受け、坂本・福岡地区の放課後児童クラブ、福岡・阿木地区の季節児童クラブの新設に向けた準備がされました。また、価格高騰による保護者の負担増加を防ぐため支援交付金が交付されました。

・医療・介護における奨学金等貸付事業

人手不足対策として、介護福祉士を目指す学生（坂下高校）や医学生等への奨学金貸付事業や、地域総合医療センターとの連携による人材確保が進められています。また、障害福祉サービス等報酬改定に伴う福祉・介護等ベースアップ加算等も創設されました。

引き続き医療・介護・福祉と、市民の健康や暮らしを守る取り組みに尽力していただくことを期待しています。

【市長公室】

・市制70周年記念式典事業

令和4年度はコロナ禍の厳しい状況の中、主要事業である市制70周年記念式典が盛大に行われました。また、他の70周年関連事業も実施され、令和5年以降の出発点となりました。数年後には中津川市にリニアがやってきます。リニア駅開業に向け積極的な政策推進を期待します。

・職員研修事業

未来に輝ける中津川市の構築のためには、持続的な人材育成が重要となります。令和4年度の決算にあたり、積極的な職員研修など人材育成に取り組んでいます。引き続き職員の資質の向上を図り、能力を最大限に発揮できる職員の育成に取り組んでください。

【病院事業部】

・中津川市民病院

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響下での経営で、市民病院は入院患者数、外来患者数ともに減少しました。電子カルテシステムや空冷システムの更新やWi-Fi整備などを行い経営的に厳しい状況でしたが、国のコロナ対策補助金があり乗り切れています。今後のコロナ対策補助金がなくなりますが、地域の中核病院として市民の期待に沿えるようお願いいたします。

【教育委員会】

・小学校建設事業

福岡小学校の建設工事が遅延したため、旧校舎を仮校舎として整備しました。工期が令和5年度に跨ったため予算が翌年度に繰り越されました。

坂本小中学校共同給食調理場の令和7年度供用開始に向けた事業が進められています。

学校は子ども達の生活に多大な影響を与えます。今回の建設工事遅延の検証をしっかりと行った上で、今後の建設事業に取り組んでください。

令和4年度 決算認定における所見

【政策推進部】

・中心市街地活性化拠点整備事業

学び・子育て支援・観光案内・市民交流の拠点となる、ひと・まちテラスの建設において、職員や利用者の要望を反映した、市民待望の施設が出来上がりました。中心市街地の活性化の拠点として、利用者が何度も足を運びたくなる様な取り組みを期待しています。

・ふるさとづくり寄付金事業

ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、目標を上回る寄付金を得られました。ここで得られた財源の計画的で有効な活用と情報発信が、次の活動に繋がると考えます。寄付者の期待に沿える保存整備をお願いします。



▲今後整備する落合宿本陣

【消防本部】

・消防施設建設事業

少子化や多様な働き方による消防団員のなり手不足が深刻です。今後予定される消防団器具庫の統廃合に合わせ、団員の要望を取り入れた活動しやすい機能や装備の充実を図ると共に、既存施設についても環境改善に向けた取り組みを期待します。

・消防設備整備事業

計画的な更新をする中で画一的な仕様ではなく、使用する地域の地形や要望に合わせた活動しやすい装備の導入も視野に入れた選定をお願いします。



賛否が分かれた議案の議決結果

議案	中津川自民クラブ													議決結果										
	氏名	藤見憲三	勝影	岡田隆彦	吉村浩平	吉村俊廣	島田保人	水野賢一	吉村孝志	長谷川透	宮嶋寿明	林友義	小池菜摘		田口文数	糸魚川伸一	柳松直子	松崎誠	木下律子	田中愛子	黒田信義	黒田ころ	園原武嗣	
令和5年度中津川市一般会計補正予算（第8号）	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市条例の一部改正について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市幼稚園の設置等に関する条例等の一部改正について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市土地開発公社の解散について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	退席	賛	退席	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
請願書「健康保険証存続を求める幼児患の提出に関する請願」	否	否	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	賛	賛	賛	賛	賛	賛	不採択
令和4年度中津川市一般会計決算の認定について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
令和4年度中津川市国民健康保険事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
令和4年度中津川市駅前駐車場事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定
令和4年度中津川市後期高齢者医療事業会計決算の認定について	賛	賛	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	認定

*議第87号対し、長谷川透議員、糸魚川伸一議員、林友義議員は、土地開発公社役員のため退席しました。

*決算認定議案に対し、黒田ころ議員は、監査委員のため自主的に退席しました。

*公明：市議会公明党、市民ク：市民クラブ、共産：日本共産党、9：中津川9の会、ネ：市民ネット、無：無会派

特別委員会報告

◆リニア中央新幹線対策特別委員会「中間報告」

8月4日

○恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会での説明資料について
執行部から提案する資料について、確認し承しました。

○恵那市議会・中津川市議会リニア関連懇談会の開催について
(仮称) 神坂スマートインターチェンジ建設現場を視察し、馬籠宿では中津川市観光課職員から中津川市の観光の現状・計画等の説明をしていただきました。馬籠地区では、外国人観光客も見られるようになっていました。リニア活用の大事な事業、観光事業の推進について考える機会となりました。現地視察の後、ひと・まちテラスにて両市リニア特別委員会の活動報告、リニア関連事業の状況報告と意見交換を行いました。

○濃飛横断道・三市一村議会委員会合同会議、中津川市議会・南木曾町議会
リニア特別委員会合同会議について
本年度の進め方を確認しました。

◆病院・医療等対策特別委員会「中間報告」

8月15日

坂下診療所・坂下老人保健施設の民営化進捗状況について

○報告内容

急性期医療を中心とする市民病院の後方支援病院として、坂下診療所の施設を最大限利用した自立的な医療・介護提供体制の構築を目指す民営化の取組と、プロポーザル方式を実施し、医療法人純正会を運営事業候補者とした報告を受けました。また、民営化の進捗状況について、交渉内容等を明確にし、スムーズに交渉を進めるための基本合意書を7月に締結したことと、同じく7月に東濃圏域地域医療構想の枠組みに適合しているかを協議する1回目の東濃圏域地域医療構想等調整会議が開催され、多くの委員に理解が得られなかったことの説明を受けました。

○主な質疑応答

「旧坂下病院に、今回は回復期・慢性期病床を確保していくことについて、医師会の多くの人が、調整会議の中で反対されましたが、今後の調整会議において賛成を得ることができるのか。」との質疑に対し、「市民病院では今79床の回復期病床を持っており、更に44床を将来の回復期用に備えて休床しています。その44床を、坂下診療所に再配分するという具体的な説明をさせていただきます。」との答弁でした。また、「44床を坂下診療所に再配分し、市民病院の病床数が減ることで、市民病院の医師確保の面でマイナスの影響が出るのではないか。」との質疑に対し「病床が仮に316床に減少したとしても、今以上に急性期を充実させることで、医師の先生方にも興味を示していただけると言われています。今後急性期を充実していくことをしっかり説明していくことが重要と考えています。」との答弁でした。

常任委員会報告

◆総務企画委員会(所管事務調査)(定住推進部)

7月4日

○地域一括交付金の現状、課題及び今後について

現状・課題

各地区まちづくり組織への支援と集落支援員の雇用により、各地域の自主自立に向けた活動が活発化し、活力ある地域の持続を目指しています。

令和5年度のまちづくり組織支援事業は、金額を増額して支援しています。

現在15の全地区に集落支援員を配置し、会計年度任用職員として雇用しています。

今後の対応

今後は、集落支援員の報酬を令和6年度から地域一括交付金へ組み替えたいと考えております。

委員会のまとめ

交付金の配分や事業の見直しなど、地域の実情に応じて柔軟に活動できるよう求めます。

◆文教民生委員会(所管事務調査)(市民福祉部)

7月19日

○新型コロナウイルス感染症の障がい者(18～65歳)への影響と今後について

現状・課題

中津川市障がい者福祉計画第6期計画に基づき、3つの基本目標、8つの施策に分け進めています。また、障害者手帳の交付、障害福祉サービスなど合わせて進めています。

今後の対応

障がい者の雇用・就労として、中津川障害者雇用促進協議会などを中心に支援を進めていくことがのぞましいと思います。

委員会のまとめ

ハローワークの障害者雇用率の推移から新型コロナウイルス感染症の障がい者(18～65歳)への影響をみると、企業の雇用率・雇用達成率は県内平均を大きく上回っています。今後は行政と事業者が円滑な連携をすることで障がい者の雇用・就労が守られると思います。

◆産業建設委員会(所管事務調査)(環境水道部)

7月13日

○上下水道施設の老朽化と人口減少が当該事業に与える影響について

現状・課題

上水道においては、施設の老朽化、耐震化の遅れが懸念されます。また、非常に長い管路を有するため、多額の維持費を投じており経営を圧迫しています。人口減少による料金収入の減少、計画的な更新に必要な資金の確保、留保資金の減少に伴う対策等、財源の確保が急務となっています。技術者不足にも陥っており、技術継承、災害対応能力の低下が懸念されます。下水道においても財源確保、技術者不足の問題を抱えています。

中山間地特有の地形により、マンホールポンプが多数設置されている為、維持管理に多額の費用を費やしており経営を圧迫しています。

委員会のまとめ

上水道においては、岐阜県が策定した「水道広域化推進プラン」を受け、検討をして行きます。下水道については、岐阜県汚水処理事業広域化・共同化計画に基づき、施設の在り方、経営の効率化を検討して行きます。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は10人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



映像配信はこちらから→



会議録はこちらから→



栗きんとん

答

①不登校傾向の児童生徒について、各学校で具体的な支援策を検討する会議を開催。教室に入るのが困難な児童生徒の居場所として、各学校で校内適応指導教室を設置。市内に2か所の適応指導教室を設置し、保護者に案内セラシーやスクール相談員を配置し、保護者と児童生徒と面談の実施。保護者や児童生徒と相談の上、希望に応じて家庭訪問を行い、学習プリントを活用して学習支援。本人・保護者の希望に応じ、高校説明会や高校見学を通じた丁寧な進路相談の実施を行っています。

②長期の欠席が見込まれる場合や、午前のみの登校が続く場合などは、保護者と相談して給食を止めることで対応しています。給食の停止・再開は3日前までに学校に届けを出すことで対応が可能です。(教育委員会事務局長)

問

①不登校になった際、どのような支援が用意されていますか。

②不登校の負担を軽減するために、給食費支援や日数に応じて支払う等の対応が必要だと思いますが所見を伺います。

不登校について

田中 愛子

答

①国は子ども医療費助成を行う自治体の国保への国庫負担金減額調整措置廃止で高校生までの医療費助成に取り組みや、少子化対策に方向転換したと捉えています。(市民福祉部長)

②既存事業の見直し、DXの推進による業務の効率化をさらに進めること等、財源を捻出することは可能と考えています。(総務部長)

③令和6年4月に標準を合わせて取り組む考えです。そのうえで東濃各市と実施のタイミングを図っています。(市民福祉部長)

問

①国民健康保険への国庫負担金の減額調整措置の廃止は、高校生までの医療費無料化に向け「追い風」になると思うが、どのように捉えているか伺います。

②高校生までの医療費無料化に必要な約6千万円の予算捻出の可能性を伺います。

③東濃各市と歩調を合わせることも、また物価高騰が急激に進んでいる状況を踏まえ、令和6年度から「高校生までの医療費無料化」に踏み切る市の考えを伺います。

子育て支援のための子ども医療費助成制度の拡充について

島崎 保人



栗きんとん

答

①日傘通学については保護者から要望があった場合は了承しています。しかし、片方の手がふさがってしまうことや視界が狭くなること等を鑑み、推奨するには至っていません。

②特別教室は、当面の対応として、新型コロナウイルス感染症対策として整備をした扇風機やスポットクーラーを活用して対応していきたいと考えています。なお特別教室へのエアコン設置は、児童生徒の利用頻度を考慮して整備を進めていきたいと考えております。(教育委員会事務局長)

問

①日傘通学については保護者から要望があった場合は了承しています。しかし、片方の手がふさがってしまうことや視界が狭くなること等を鑑み、推奨するには至っていません。

②特別教室は、当面の対応として、新型コロナウイルス感染症対策として整備をした扇風機やスポットクーラーを活用して対応していきたいと考えています。なお特別教室へのエアコン設置は、児童生徒の利用頻度を考慮して整備を進めていきたいと考えております。(教育委員会事務局長)

熱中症対策について

田口 文数



栗きんとん

答

①受付件数は1056件で、実施すると判断した件数は878件です。

②所管部署が作成した回答を、直接又は出先事務所を通じて文書で区長会等へ回答しています。なお軽微な案件については、口頭での回答をすることもあります。(定住推進部長)

③事前防災とういことで地区の要望と合わせて考慮し進めています。例えば向山、新茶屋線については過去何度か被災していますが、山から流れてくる水全てを水路で処理できなかったことが原因のため、水路を拡幅する工事を予定しています。(建設部長)

問

①受付件数は1056件で、実施すると判断した件数は878件です。

②所管部署が作成した回答を、直接又は出先事務所を通じて文書で区長会等へ回答しています。なお軽微な案件については、口頭での回答をすることもあります。(定住推進部長)

③事前防災とういことで地区の要望と合わせて考慮し進めています。例えば向山、新茶屋線については過去何度か被災していますが、山から流れてくる水全てを水路で処理できなかったことが原因のため、水路を拡幅する工事を予定しています。(建設部長)

地域要望について

松崎 誠

答

今後、弁護士3名からなる検証委員会において検証、作成された報告書を受けて、責任の所在や賠償について、どのようにしていくか判断してまいります。(総務部長)

問

福岡小学校建設遅延問題は、全国的にテレビニュースになるほどの問題です。市民の方からは子供たちが大丈夫だからと言って済む問題ではない。「仮校舎の建設費用は余分な税金の負担だ。誰が負担してくれるのか。」「本来なら契約違反のはず、賠償は」など多くの声をいただきます。市として、責任の所在や賠償についてきちんと追及してくれるのか考えをお聞かせください。

福岡小学校建設遅延等に対する損害賠償について

黒田ところ



栗きんとん

防災について(非常用電源について)

糸魚川伸一

問 本庁舎地下にある非常用発電設備は設置後42年が経過し老朽化しています。更新は本庁舎の建て替えを視野に入れて検討することですが、庁舎の建て替えは現時点で未定です。また、市役所庁舎はハザードマップで浸水領域に入っています。近年の雨の降り方等を考えても更新は待ったなしだと思います。令和7年度期限の国の補助金を活用し、設置場所の移設も含め更新すべきと考えますが見解を伺います。



答 市役所庁舎は浸水の可能性のある領域にあるため非常用発電装置をどこに設置しても被害の可能性は否定できません。また、本庁舎の2階以上の高所に設置するにも建物が装置の荷重に耐えられないため、難しいのが現状です。このような事情から、庁舎の建て替えを含めて考えていかざるを得ないと考えております。緊急防災・減災事業債は交付税算入率が高く財政的に有利な起債ではありますが、本庁舎の建て替えによって二重投資になることも懸念されるため総合的に考える必要があります。(総務部長)

中津川市の新斎場建設について

榎松 直子

問 市民からの声として新斎場の建設はどうなっているのかと問われる機会も多く、現状や今後の計画などの周知が必要と考えます。①斎場という呼び方から「メモリアル施設」と変更しましたが、機能などの変更はありませんか。②場所の選定も含めて、建設の進捗状況(方針の変更など)を教えてください。③全体的な状況について、いつ頃市民への報告がされますか。



答 ①建設場所が決まりましたら「仮称中津川市メモリアル施設基本計画」を策定し、機能等を定めていきたいと考えています。②広報活動と先進地火葬施設市民視察会を開催し、視察会参加者のご意見を集約し広報でお知らせしています。③候補地の選定ができないと、全体の状況について報告することができません。広報活動と市民の意見聴取を行ったうえで、候補地選定に取り組んでまいります。(環境水道部長)

中津川市の気象警報区域の細分化について

木下 律子

問 中津川市では北部と南部では気象状況が違っていることがあり、警報の発令を細分化してほしいとの声がかかります。①中津川市の気象警報細分化の取り組みと経過について伺います。②現状の課題について伺います。③これからの見通しについて伺います。



答 ①平成31年に岐阜地方気象台へ要望書を提出し、以後、課題を整理・共有するため、岐阜地方気象台と勉強会を開催しました。②細分化の詳細は決まっていますが、細分化した区域の特性などを岐阜地方気象台に提示する、誤認なく住民に伝わるようにする必要があります。③岐阜地方気象台及び岐阜県と一緒に検討しているところですが、見通しはたっていない状況です。(総務部長)

坂本地区の開発の方向性について

小池 菜摘

問 7月1日より施行された「中津川市特定用途制限地域における建築物の用途制限に関する条例」は開発需要の高まる坂本地区において無秩序な開発を防止する都市計画です。①本条例も踏まえ、今後の坂本の土地利用についてどのようにお考えですか。②地域との話し合いが必要かと思いますが「地域計画(旧入・農地プラン)」について現在どのように進めていますか。③坂本地区の未来をどのように描いていますか。



答 ①開発を許容するエリアと環境を保全するエリア等のゾーニングが必要と考えます。②11月を目前に、市内13地区の地域計画策定に向け、順次会議を開催する予定です。(農林部長) ③風土千年、風景百年、景観十年の考え方のもと、豊かな自然や農林業などの豊かな空間は守り、ブラッシュアップしていくとともに、リニアで大きく変わろうとしている地区としての新たな役割・機能づくりに取り組めます。(市長)

新斎場建設問題について

鷹見 憲三

問 新斎場建設問題は平成21年に区長会、市議会などを中心に「新火葬場建設検討委員会」が設置され、理想の候補地として「風光明媚な場所・幹線道路に近い・地元理解が重要」と結論ができました。以後、平成23年から候補地を選定して6箇所の地域と交渉されましたがいずれも建設を断念されました。今年度に入り広報なかつがわで新火葬場建設の広報活動を積極的にされています。いつまでに用地買収を完了し、供用開始になるのかお伺いします。



答 早期の供用開始を目指して取り組んでおりますが、まずは候補地の決定を第一に考えております。候補地が決まらなければ、建設までのスケジュールや供用開始の時期は明らかにすることが出来ないと考えております。(環境水道部長)

令和5年度 市民と議会の対話集会(予定)

中津川市議会では毎年「市民と議会の対話集会」を開催しています。今年度は、常任委員会ごとに担当する範囲でテーマを決定し、関連する団体の方々とお話することになりました。いただいた意見をもとに課題や改善策を見つけ、行政へ政策提言または申入れを行います。

実施時期・内容

- 総務企画委員会
 - ▶開催日時・場所：11月9日(木) 苗木交流センター ホール
 - ▶テーマ：「地域一括交付金を活用したまちづくりについて」
 - ▶懇談先：市内15地区のまちづくり組織(地域一括交付金交付先)
 - 文教民生委員会
 - ▶開催日時・場所：①11月7日(火) 苗木交流センター ホール
 - ②11月8日(水) 福岡総合事務所 世代交流室
 - ▶テーマ：「障がい者の雇用・就労について」
 - ▶懇談先：①A型・B型作業所の経営者・事業主・スタッフ(雇用する立場)
 - ②作業所で働く障がいをお持ちの方・障がい者の保護者(雇用される立場)
 - 産業建設委員会
 - ▶開催日時・場所：10月31日(火) 苗木交流センター 会議室2
 - ▶テーマ：「上下水道施設の老朽化と人口減少が当該事業に与える影響について」
 - ▶懇談先：市内15地区の市上下水道事業経営審議会委員、区の役員等
- 「市議会だより なかつがわ」および市議会ホームページで報告をします。



第9回中津川市中学校生徒会サミット

中津川市をより魅力的な街にするために
～私たちにできること 私たちにしかできないこと～



Aグループ(第一中・第二中・神坂中・蛭川中)のテーマ【人権・おもてなし】

第一中学校



駅前に誰でも活用できる
手汲み式の井戸の設置を!

LGBTを考慮し、市内同じ
デザインの制服を!

第二中学校



神坂中学校



神坂、馬籠の魅力
中学生目線で発信!

各中学校の「推し和菓子」の
販売と菓子フェスの実現!

蛭川中学校



Bグループ(苗木中・坂本中・落合中・坂下中)のテーマ【歴史・地元】

苗木中学校



城・鉄道・グルメ・アニメ「オタク」
をターゲットにした町おこし!

誰もが何度も来なくなる
「駅前リアパーク」の設置を!

坂本中学校



落合中学校



「若者が集まる落合」に向け
中学生視点のツアー提案!

Minecraftで中津川を再現&
ウォーキング大会で魅力の発信!

坂下中学校



Cグループ(福岡中・付知中・阿木中・加子母中)のテーマ【自然・交通】

付知中学校



町の魅力を堪能できる
観光スポットの企画提案!

乙女溪谷の魅力を日本、
そして世界にSNS発信!

加子母中学校



福岡中学校



北恵那鉄道跡を整備し、
観光&ウォーキングコースに!

空き家をリノベーションし、
まちの活性化を!

阿木中学校



議会開催状況 6月27日～10月2日

本会議	(5回)
総務企画委員会	(2回)
文教民生委員会	(3回)
産業建設委員会	(3回)
予算決算委員会	(7回)
議会運営委員会	(6回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(1回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(3回)
病院・医療等対策特別委員会	(1回)
全員協議会	(1回)
議員連絡協議会	(2回)

令和5年12月定例会の日程

11月29日(水)	10時	本会議(初日)
12月8日(金)	10時	一般質問
12月11日(月)	10時	一般質問
12月13日(水)	10時	産業建設委員会
12月14日(木)	10時	総務企画委員会
12月15日(金)	10時	文教民生委員会
12月18日(月)	10時	予算決算委員会
12月22日(金)	10時	本会議(最終日)

編集後記

新人議員にとっては初めての決算認定でした。4日間かけて主要な事業についての成果や予算の執行状況、さらに費用対効果などを中心に全議員で精査しました。市民を代表して市政をチェックすることはとてもやりがいのあることです。執行部や議会での取り組みをいかにして皆さまにわかりやすくお伝えすることもまた、重要な仕事だと感じています。市政の通訳者として、議会報編集委員一同よりわかりやすい形をと努力しています。ぜひ、皆さまの声をお聞かせください。



▲議会への直行便はこちら